

第9回 学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年2月7日(土) 10:25～

場 所：高倉小学校 ランチルーム

1 開会・会長あいさつ

- ・ 漢字検定へのご協力ありがとうございました。学校公開の様子、グループで学習している様子が良かった。3 学期も残りわずか。思い出に残るようにお願いします。

2 学校からの報告

(1)近況報告について

- ・ インフルエンザによる学級閉鎖の状況…3 学期開始後、インフルエンザの流行により学級閉鎖が複数発生した。具体的には、1・2・4・6 年生で 1 クラスずつ学級閉鎖となっている。感染拡大は依然として続いており、本日の学校公開を経た来週の状況が懸念されている。
- ・ 1 月の行事報告…4 年生プラネタリウム見学(サイエンスドームにて見学と活動)、校内書き初め展、など
- ・ 小中一貫教育の日(1/31)…高倉小・大和田小・第八小・第一中の 4 校で意見交換を実施。6 年生が中学校の授業を体験し、良い経験となった。
- ・ 新入児保護者説明会…2 月 13 日に新入児保護者説明会を実施予定で、来年度入学予定の新 1 年生 58 名の受け入れ準備が進められている。
- ・ 6 年生の卒業関連行事と避難訓練…6 年生は「卒業を祝う会」「6 年生を贈る会」での太鼓発表に向けて練習中であり、6 年生の伝統的な活動として期待されている。行事が続くため、児童の体調管理に十分配慮しながら進める。
- ・ 交通安全ボランティアへの感謝状…学校安全ボランティアの方に感謝状が教育委員会から贈呈される予定であり、多くの辞退者がいる中、5 名が受領を了承した。ボランティアの方より子どもたちの交通マナーについて、青信号に変わった瞬間に走り出す児童がいることや、特に交通量の多い通り(パチンコ店付近)での危険行動を懸念されている。また、ボランティアから「一人で下校する児童に声をかけたいが、不審者と誤解される可能性があり難しい」との意見があった。学校としては ボランティアの活動意義を児童に伝え、感謝の気持ちを育む機会を設けることとした。

教育委員会による形式的な感謝状より、児童からのお礼の手紙の方が効果的ではないかとの意見もあり、次年度に向けて具体的な取り組みを検討することになった。

(2)運営状況報告書(案)の確認

- 今年度の運営目標「チーム高倉としての力を高める」「子どもたちの自己肯定感・自尊感情を高める」に基づく運営状況報告書(案)が提示された。
- 漢字検定、外部講師による出前授業(例:4年音楽の琴指導)、江戸東京野菜「高倉大根」の栽培(関連物品の購入も含む)など、今年度の取り組み内容を確認。
- その場では特に意見は出ず、後日改めて確認し、気になる点があれば意見を提出することとなった。

3 情報交換

- 高倉大根の栽培を通じて学校、農家、地域住民との繋がりを作る。来年度もこの活動を継続し、参加者が増えるような形を目指したい。
- 来年度、小学校と保育園との交流をさらに深めたい。具体的活動として、2月18日に高倉小学校1年生との交流会が予定されている。「保幼小連携カリキュラム」が完成し、今後各所に配布される予定。今後は、カリキュラムの狙いをさらに具体化していく必要がある。高倉小学校の発表会などの行事に、保育園の園児と職員がより積極的に参加させてほしい。
- 学校公開で見て1年生が非常に落ち着いていたことに感心した。最近、周囲の人々と「子どもも大人も褒めて伸ばすことが重要だ」と話し合っている。自己肯定感が低くならないよう、どんな些細なことでも褒めることが子どもの成長につながると考えている。
- 顔見知りの子であれば声をかけてくれるが、知らない子への声かけは難しい。地域のつながりが希薄化し、コミュニケーションが取りにくくなっている社会になっている。町会としては声かけを推奨しているが、現状は厳しい。ランドセルを背負っている子への声かけの方法を工夫すべきではないか。

4 次回の実施予定

- ・日時:3月6日(金)16時00分～